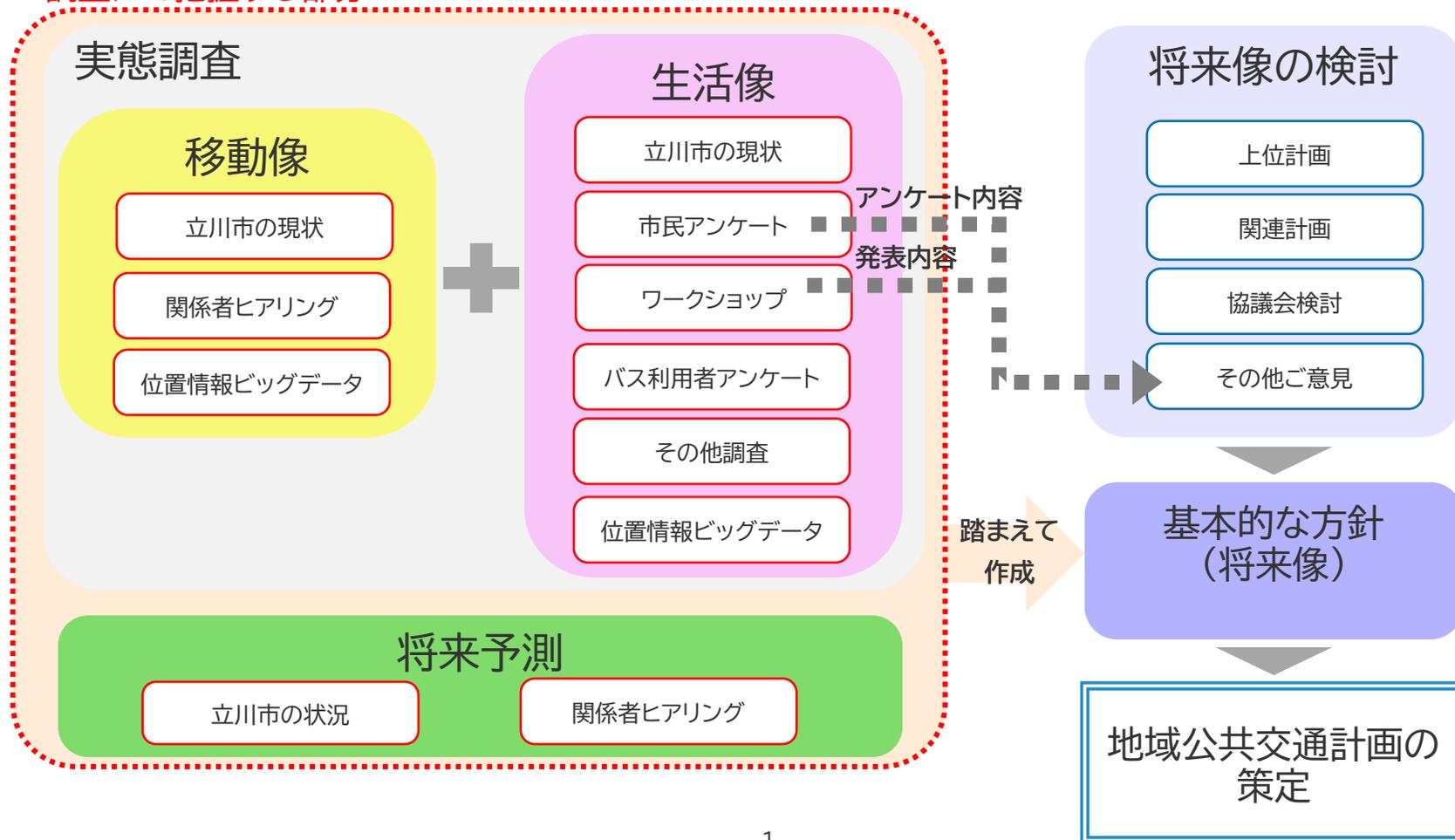


今後の調査計画について

1. 調査の活用方針

- 立川市における課題を整理するにあたり、実態調査により、移動像・生活像・将来予測を整理する。
- それらや上位計画・関連計画・市内検討等を踏まえ基本的な方針(将来像)を設定する。その基本方針をもって、地域公共交通計画を策定していく。

調査にて把握する部分



2. 今後の調査

- 立川市地域公共交通計画の策定検討にあたり、今後実施を予定している調査は下記のとおり。

調査	概要	実施予定時期
①立川市の現状	・立川市の概況や移動に関する現状について、既存統計データやICカードデータ等を元に机上調査	・令和6年内(調査中)
②市民アンケート	・市民を対象に移動実態や移動に関するお困りごと等を調査	・令和6年10月
③ワークショップ	・市民同士が地域の公共交通の現状の意見交換や地域の生活と移動を話し合い、発表	第1回:令和6年12月～令和7年1月 第2回:令和7年2月～3月
④バス利用者アンケート	・シルバーパス利用者を対象にバスの利用実態について調査	・令和6年10月
⑤その他調査	・来訪者の移動に関して、既存アンケートデータをもとに再整理	・令和6年内
⑥関係者ヒアリング	・交通事業者を対象に、立川市の交通の現状と将来・課題について調査	・令和6年11月～12月
	・福祉関係者を対象に、立川市の個別施策について調査	・令和6年11月～12月
⑦位置情報ビッグデータ	・立川市内に滞在・流入・流出する人のGPS位置情報データを活用し移動実態を調査	・令和6年10月～12月

2. 今後の調査

- ・ 各調査の実施スケジュール(案)は下記のとおり。
- ・ 年内を目途に概ねの調査を実施予定である。

■各調査のスケジュール(案)

調査	実施予定時期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①立川市の現状	・令和6年内(調査中)	実施					
②市民アンケート	・令和6年10月	実施	分析				
③ワークショップ	第1回:令和6年12月～令和7年1月 第2回:令和7年2月～3月			第1回実施		第2回実施	
④バス利用者アンケート	・令和6年10月	実施	分析				
⑤その他調査	・令和6年内	実施					
⑥関係者ヒアリング	・令和6年11月～12月		実施				
⑦位置情報ビッグデータ	・令和6年10月～12月	分析					

3. 各調査での把握項目

- 移動像・生活像・将来予測を整理するにあたり、各調査では下記の項目を中心に把握する。

移動像
 ・地域公共交通(幹・枝・葉)の
 利用実態・移動実態のまとめ

生活像
 ・地域の生活にかかわる
 移動実態のまとめ

将来予測
 ・将来公共交通の需要
 や供給に関する要素

①立川市の現状 市の概況整理	<ul style="list-style-type: none"> 人口動向、人口分布 地形、施設配置、土地利用 公共交通網(利用環境) 道路状況、道路混雑状況 		<ul style="list-style-type: none"> 人口動向(将来推計結果) 開発動向
①立川市の現状 移動に関する現状整理	<ul style="list-style-type: none"> 各公共交通の運行状況 各公共交通の利用状況 市内外の移動状況(目的・交通手段別) 高齢者の外出状況 鉄道駅端末交通の利用状況 交通事故状況 	<ul style="list-style-type: none"> くるりんバスのOD(ICカードデータ) 移動特性(OD等)、免許保有率等 	
②市民アンケート		<ul style="list-style-type: none"> 個人属性(よく使う駅やバス停留所、そこまでの距離、外出頻度等含む) 最もよく出かけた目的/2番目に多い目的/3番目に多い目的での移動実態 立川市の公共交通について(満足度・認知度) 立川市内の公共交通に関するお困りごと 	
③ワークショップ		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の現状に関する意見 地域の公共交通のあるべき姿や対策 	
④バス利用者アンケート		<ul style="list-style-type: none"> 移動実態・目的・頻度 シルバーバスの利用実態 	
⑤その他調査		<ul style="list-style-type: none"> 来訪者の移動実態 	
⑥関係者ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 運行上の課題 		<ul style="list-style-type: none"> 今後の見通し 減便等の状況
⑦位置情報ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> 市内外の移動状況(平休・時間別等) 	<ul style="list-style-type: none"> 移動特性(OD、滞在場所等) 	

4. 各調査の詳細 ②市民アンケート調査

- 市民アンケート調査では、市民の日常生活における行動範囲や移動実態、及び現状の課題認識及び将来像への意向を調査する。

■市民アンケート調査の実施概要

→資料4-1・資料4-2にて詳細を提示

	市民アンケート(高齢者:65歳以上)	市民アンケート(生産年齢:15歳~64歳)
調査対象者	立川市在住の65歳以上の市民 (立川市に住民票を有する、令和6年10月1日現在で65歳以上の男女)	立川市在住の15歳以上64歳以下の市民 (立川市に住民票を有する、令和6年10月1日現在で15歳以上64歳以下の男女)
抽出方法 ・配布人数	層化無作為抽出(各町の人口規模・年代構成・男女比で比例配分のうえ、無作為抽出) 1,600人	層化無作為抽出(各町の人口規模・年代構成・男女比で比例配分のうえ、無作為抽出) 1,400人
回収目標	560票(回収率35%想定)	420票(回収率30%想定)
調査方法	郵送配布・郵送回収・web回収	同左
調査期間(案)	令和6年10月10日発送から10月31日回答投函締切	同左
主な把握項目	<ul style="list-style-type: none"> 個人属性(よく使う駅やバス停留所、そこまでの距離、外出頻度等含む) 最もよく出かけた目的/2番目に多い目的/3番目に多い目的での移動実態 立川市の公共交通について 立川市内の公共交通に関するお困りごと 将来の立川市の公共交通 等	同左
その他	アンケートは無記名であり、調査結果はすべて統計的に処理	同左

4. 各調査の詳細 ③ワークショップ

- ワークショップでは、移動実態調査やアンケートでは把握できない課題や潜在的なニーズの把握、持続可能な公共交通の実現に向けた地域公共交通のあるべき姿(将来像)について市民の意見を聴取する。

■ワークショップの実施概要(案)

→資料5にて詳細を提示

対象	立川市内在住の15歳以上の方
開催回数	全10回（5地域×2回で開催/原則2回連続参加）
定員	各回 最大20人程度(申込制)※定員数に満たない場合飛び込み参加あり
開催方式	ワークショップ形式(1グループ6～7人程度/最大3グループ)
募集方法	<p>【周知】 立川市HP、広報たちかわ、立川市公式LINE、募集チラシの市施設への設置、関係団体への配布(自治会等)による周知を予定。 ※その他、市民アンケート調査での事前告知、関係団体からの推薦も検討予定</p> <p>【申込方法】 郵送、持参、FAX、メール等での申し込み受付を予定</p>
実施期間(予定)	<p>第1回：令和6年12月～令和7年1月 第2回：令和7年2月～3月 各回、土日祝日で実施を想定</p>
テーマ 主な内容(案)	<p>第1回テーマ「地域の公共交通について知って考えよう」 ・立川市の公共交通の現状に関する情報提供、地域公共交通の現状に関する意見交換、 第2回ワークショップでの検討テーマだし</p> <p>第2回テーマ「地域の生活と移動を考えよう」 ・第1回ワークショップやアンケート調査の結果などを踏まえ、地域の公共交通のあるべき姿や 対策を考える</p>

4. 各調査の詳細 ④バス利用者アンケート

- ICカードデータ等で把握が困難な、シルバーパス利用者を対象にバスの利用実態について調査する。

■バス利用者アンケートの実施概要(案)

対象者	シルバーパス利用者を中心とした高齢者バス利用者
実施方法(案)	・シルバーパス利用者の利用が多いと思われる箇所にて調査票の配布・設置を行う。 ①市内の各バス事業者窓口・案内所に調査票と回収ボックスを設置依頼予定 ②高齢者のつどい@市民会館(10/10・11開催)にて配布・回収 等
実施期間(予定)	令和6年10月
質問項目(案)	・年代 ・シルバーパス保有の有無 【普段のバス利用について】 ・路線バスの利用頻度 ・よく利用する乗車バス停・降車バス停(自宅からの利用を想定) ・路線バスを利用する際の主な目的

4. 各調査の詳細 ⑥関係者ヒアリング調査

- ・ 事業者目線での各サービスの利用実態や要望などを把握し、各事業者が抱える運営上の課題や今後の事業の展開方針等を把握する。
- ・ また、高齢者や障害者、子育て世代等、移動において特に配慮が必要な方の関係団体へのヒアリングを通して課題を把握する。

■ 交通事業者へのヒアリング(案)

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者 ・タクシー事業者 ・送迎バス運営事業者 ・シェアサイクル事業者 ・電動キックボード事業者
主なヒアリング項目	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの利用状況(現状、経年での変化等)や利用者からの要望 ・利用者からの要望、課題 ・サービス運営上の課題 ・経営に関する課題 ・今後の事業展開の見通しやビジョン ・望ましい地域交通のあり方 等
実施期間(予定)	令和6年11月～12月

■ 福祉関係者へのヒアリング(案)

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター [高齢者] ・社会福祉協議会 [障害者] ・子育てひろば [子育て世代]
主なヒアリング項目	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービス等の実施状況(実施している団体のみ) ・施設利用者からの交通に関する要望、課題 ・望ましい地域交通のあり方(公共交通との役割分担、連携等) 等
実施期間(予定)	令和6年11月～12月

4. 各調査の詳細 ⑦位置情報ビッグデータ

- 平休別や時間帯別等、移動実態をより詳細に把握するため、サンプル数が多く、また、細かい単位で位置情報を把握しやすいGPSを活用した調査を実施する。

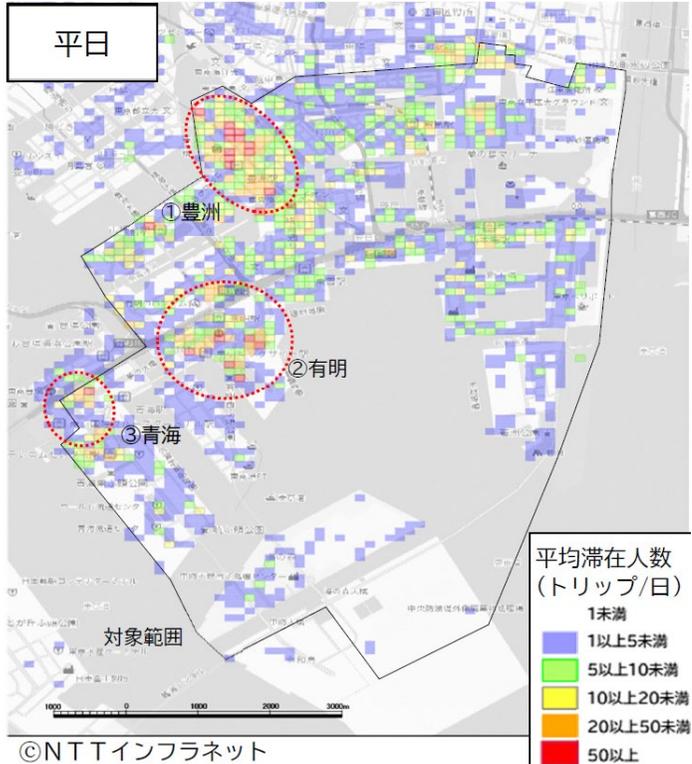
■位置情報ビッグデータ調査の実施概要(案)

データ概要	・スマートフォンの特定のアプリのユーザのGPS位置情報を取得し、秘匿化処理を行ったデータ(株式会社Agoopの流動人口データを予定)
使用するデータの期間	・令和6年6月～7月(2か月間)
エリア範囲	・立川市全域
データ抽出方法	・立川市内流入／流出／滞在したユーザーの1日のログを抽出 ※例:1日の中で昭島市→立川市→昭島市という動きをしたユーザーの場合、立川市外の昭島市等の移動・滞在ログも抽出可能
属性情報	・性別 ・年代 ・推定居住地 ・推定勤務地
分析項目	・滞在場所(平休別・時間帯別・年代別等) ・OD(市内外の動き、市内々の動き)
調査期間(予定)	令和6年10月～12月

4. 各調査の詳細 ⑦位置情報ビッグデータ

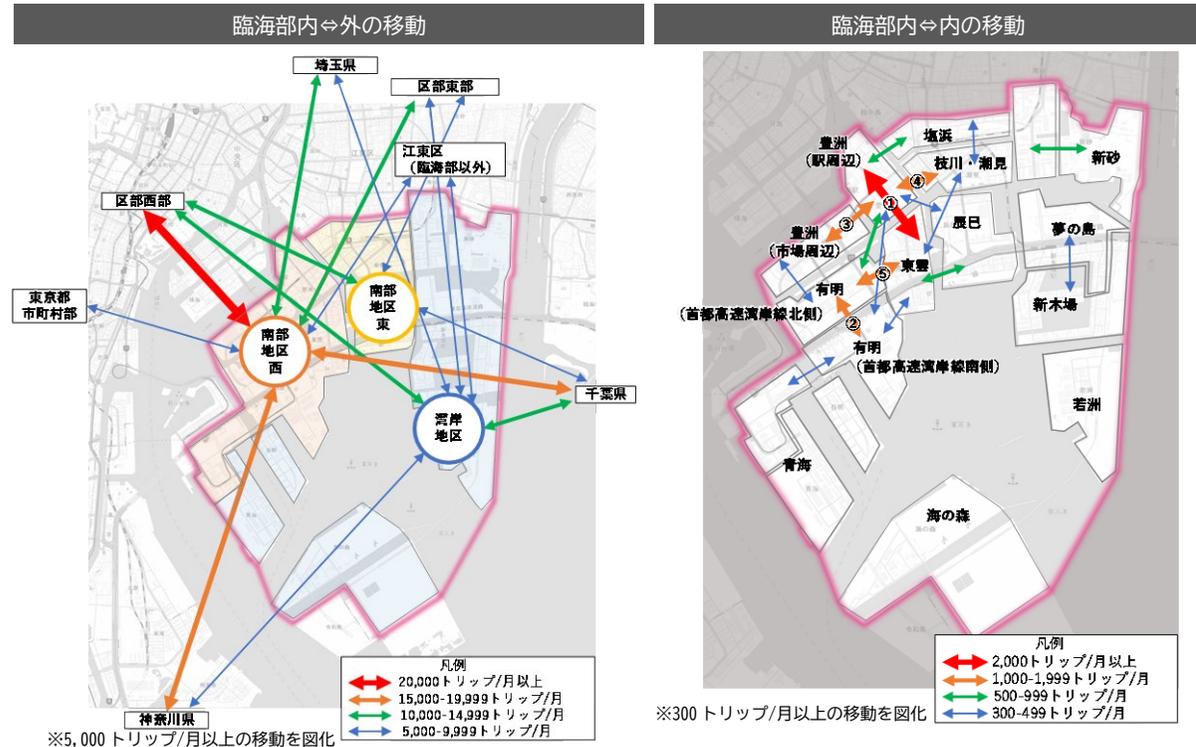
<参考> 他自治体におけるGPSの位置情報ビッグデータを活用した分析例

滞在場所の整理イメージ



データ出典:株式会社 Agoop「ポイント型流動人口データ」

ODの整理イメージ



データ出典:株式会社 Agoop「ポイント型流動人口データ」

出典: 江東区臨海部都市交通ビジョン (令和6年3月策定)